

## 報道発表資料

2019年10月1日

### 同盟写真ニュース 1277 点を追加公開

#### 新聞通信調査会デジタルアーカイブ

公益財団法人新聞通信調査会は10月1日、同盟通信関係資料を公開している「新聞通信調査会デジタルアーカイブ」に写真ニュース1277点、海外記事約1年5カ月分（約5000点）、通信社の歴史を記述した『通信社史』全文を追加公開しました。いずれも同盟通信の活動を知る上で貴重な資料で、昭和史研究、メディア研究に役立つことを期待しています。追加公開したのは以下の資料です。

- 写真ニュース（題字は『同盟通信写真ニュース』『同盟写真特報』）  
同盟通信が工場や学校などでの掲示用に毎日発行した写真ニュースです。毎日4～6種類を発行、発行部数は各約10万部といわれています。内容は政治、経済、軍事、社会、風俗、海外など多岐にわたります。当初の題字は『同盟通信写真ニュース』、1940年12月から『同盟写真特報』に改称されました。

総発行点数は数千点に達するとみられ、当財団は約1500点を所蔵しています。今回公開したのはその中の1277点。発行日は1937年から1945年です。

1942年2月24日発行の1685号は、旧日本軍が当時の英国植民地シンガポール要塞を陥落させ、連合軍総司令官アーサー・パーシバル中將がマレー方面陸軍最高指揮官山下奉文（ともゆき）中將に降伏を申し入れた「山下・パーシバル会談」の様相を伝えています。

1944年5月3日発行の2403号は、日本軍の死者が数万人に達したといわれるインパール作戦の戦闘の様相を伝えています。

1938年6月17日発行の520号は、6月15日未明に現在の岡山県赤磐市熊山地区のJR西日本熊山駅付近で起きた列車転覆事故を伝えています。下関発京都行き上り急行列車が転覆、下り線上にあった車体に京都発宇野行きの下り列車が激突し、修学旅行に向かう小学生ら80人余りが死傷した事故です。

1943年5月29日発行の2125号は大相撲夏場所の千秋楽に横綱照国を倒して全勝で12回目の優勝を飾った横綱双葉山を報じています。

- ・同盟写真特報 1685号 (1942年2月22日発行)  
「嗚呼世紀の感激!!新嘉坡陥落～厳粛歴史的な英軍降伏の瞬間」



- ・同盟写真特報 2403号 (1944年5月3日発行)  
「インパール要塞に足掻く敵英印軍を封圧～敵に止めの猛射浴びせる我機関銃隊精鋭」



- ・同盟ニュース 520 号（1938 年 6 月 17 日発行）  
「阿鼻叫喚の巷と化した～悲惨！山陽線列車転覆事件」



- ・同盟写真ニュース 2125 号（1943 年 5 月 29 日発行）  
「熱戦力闘真摯白熱の夏場所終り～双葉山、前人未踏の優勝大記録樹立」

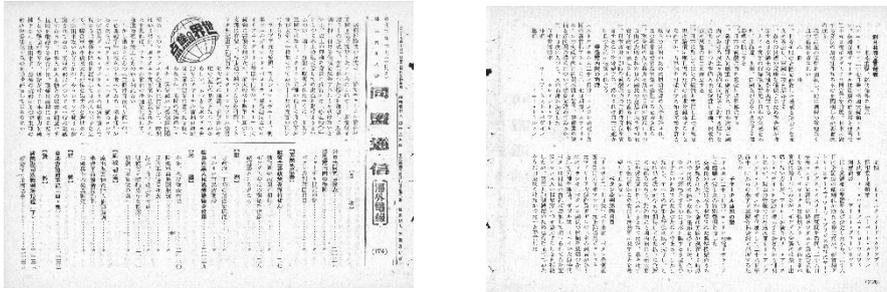


### ■海外記事（『海外電報』）

同盟通信は海外記事を小冊子『海外電報』としてまとめ、毎日発行していました。内容は海外の一般ニュース、解説、評論記事などです。公開したのは 1944 年 8 月から 45 年 12 月までの 1 年 5 カ月分で、約 5000 頁に達します。

例えば 1945（昭和 20）年 7 月 30 日（月）発行の第 3498 号は全 16 頁。「ポツダム宣言」発表の背景分析記事や、英国総選挙の結果、チャーチル首相辞任の弁とアトリー新首相の政策、フランス・ビシー政権の主席・首相を務めたペタン元帥の裁判の様態、米国軍の動きや経済統計、同年 4 月から 6 月にかけてサンフランシスコで開かれた国連憲章採択のための会議の様態などを報じています。原本は一橋大学附属図書館が所蔵、同図書館の協力を得

て公開しました。



### ■ 『世界各国主要人名録』

『海外電報』の別冊特集です。1944年10月発行の「米洲篇(1)」、同年12月発行の「米洲篇(2)」、45年2月発行の「反枢軸聯合軍及反枢軸共同機関」の3冊を公開しました。米国政府、軍、労組、上下両院議員、州知事、大公使名を網羅しています。原本は一橋大学附属図書館所蔵です。

### ■ 『通信社史』

当財団の前身である「通信社史刊行会」が1958年に刊行した通信社の通史です。全1051頁。明治期の通信社の誕生から日本電報通信社(現在の電通)と新聞聯合社の合併で生まれた同盟通信社設立の経緯とその活動、戦後の同盟解散と共同通信社、時事通信社設立の事情、海外通信社の歴史などを網羅した通信社研究の必読書です。

### <同盟通信社とは>

1936年(昭和11年)から1945年(同20年)10月まで活動した日本を代表する国際通信社です。最盛期には国内に東京本社と6支社、62支局、中国には中華総社(南京)の下に3総局23支局、南方総社(シンガポール)の下に7支社23支局を持ち、約5500人の職員を抱えていました。

国内の新聞社などに毎日約10万字の記事や多数の写真を配信。ニュース映画を製作、アジア各地で邦字新聞も発行していました。日本に関するニュースを英語、フランス語、スペイン語、中国語に翻訳し短波無線で発信。連合軍側各国の通信社電やラジオニュースなどを傍受する業務にもあたっていました。終戦後の1945年10月31日、自主的に解散、通信社業務は翌11月1日に発足した社団法人共同通信社と株式会社時事通信社に引き継がれました。

<アクセス方法>

当財団ホームページ (<https://www.chosakai.gr.jp>) の「デジタルアーカイブ」のバナーからアクセスできます。

<利用ルール>

資料は自由に閲覧できます。書籍、雑誌などで引用する場合も提供元が当財団であることが明記されていれば、基本的には自由にご利用できます。

<公益財団法人新聞通信調査会とは>

メディアの発展に寄与することを目的にジャーナリズムやマスコミュニケーションの調査・研究をしている公益財団法人です。デジタルアーカイブの運営のほか報道写真展や世論調査、シンポジウム・講演会の開催、月刊誌『メディア展望』発行、国際報道部門で優れた業績を残した記者に「ボーン・上田記念国際記者賞」を授与する表彰事業、出版補助事業、通信社ライブラリー運営などさまざまな事業を展開しています。

|          |  |
|----------|--|
| 名称       | 公益財団法人 新聞通信調査会                           |
| 英文名称     | Japan Press Research Institute (略称 JPRI) |
| 設立年月日    | 1947年12月15日                              |
| 公益財団法人移行 | 2009年12月24日                              |
| 代表者      | 西沢豊理事長                                   |

<「写真ニュース」と「海外記事」の画像希望の場合>

[chosakai@helen.ocn.ne.jp](mailto:chosakai@helen.ocn.ne.jp) 宛に「アーカイブ画像資料希望」と明記の上、メールをお送りいただければ返信に画像を添付します。

<問い合わせ先>

事務局デジタルアーカイブ担当 東郷、岡野  
電話 03-3593-1081

以上